

【活動方針・活動の柱】

- I. GLP（株）の大規模開発への対応
- II. 水田、用水路保全のための支援行動
- III. 地域的・社会的教育・自然教育のための調査・観察会および学習会（NPO法人、環境省子どもエコクラブ、滝山丘陵での観察会や多摩川での化石研修等）
- IV. 生物多様性地域戦略の市民版の作成
 - ① アンケート結果とKJ法による課題認識の共通化と論点の整理
 - ② 学習会（継続）
 - 東京都、都内市区町村、千葉県柏市、宮崎県綾町、その他
 - ③ 生物多様性に関するパンフレット作り・・・昭島市環境課への働きかけ
 - ④ 学校、自治会、市民団体、企業へのアンケート

【年間活動スケジュール】

- * 毎月、定例会（毎月第1日曜日の午後）とフィールドワーク（赤字）、外部支援（青字）を行っていく。
- 4月 総会、GLP大規模開発への対応計画と意見書検討（その後、毎月）
 - 扨島くるま堀周辺用水路の清掃活動の支援
- 5月 GLPの開発地域の現地見学会、あきしま環境マップVOL1改訂版と多摩川流域市民学会の総括
 - 扨島くるま堀水田の田植え支援（扨島一小と）
- 6月 滝山丘陵での希少種（ムカゴサイシン）の確認とキノコ観察会
 - （瑞穂町郷土資料館の谷亀氏を再び招いて）
 - （多摩川流域市民学会のフィールドワーク「府中用水を歩く」の実施）
- 7月 生物多様性に関する勉強会（その後、毎月）、
 - 環境省子どもエコクラブについての学習会（昭島エコキッズクラブの実践）
 - 扨島くるま堀水田の草取り支援
 - 用水路の水草観察会（福島・郷地地区、鈴木さんを再び招いて）とマップ作り
- 8月 扨島4小の見学会とプロジェクト案検討、扨島くるま堀水田の草取り支援
- 9月 NPO法人化に関する学習会（外部講師を招いて）、GLP開発についての意見書の確定
- 10月 多摩川での化石研究に関する研修会（アキシマエンスとの連携）
 - 扨島くるま堀水田の稲刈り支援（扨島一小と）
- 11月 生物多様性に関するまとめと地域戦略作り意見交換会、アンケート作り（その後、毎月）
 - GLP開発についての意見書の各方面（昭島市、東京都、国、各政党）への発送と働きかけ
- 12月 昭和公園でのガの観察会（朝鮮大学校卒・九州大学大学院パクチニョンさんを招いて）
 - 環境省子どもエコクラブについての学習会（昭島市環境課を招いて）
- 1月 環境省子どもエコクラブの申請と組織的な準備
- 3月 生物多様性の地域戦略市民版素案・パンフレット作成とアンケート発送

【長期・準備事業】

- I. マップを生かした教育活動・マップを発展させる研究活動
 - ① 環境省子どもエコクラブの準備
 - 1) 登録・・・市役所環境課を通して

2) スタッフ

指導、サポート、応援・協力

3) 財政的な基盤

- a. 当初は、昭島環境フォーラムの会員制度の財政からスタート。
- b. エコクラブの会員が増えてきた時点で、会員制の移行による組織変更を行う。
- c. 最終的には、「多摩自然塾」という教育組織（会員制）を目指す。

その際、クラウドファンディングも活用。寄付をしてくれた人を会員やサポートとしていく。

②活動課題

1) 植物標本・昆虫標本の作製・保存

生きもの目録作り（データベース作り）

2) 外来種の駆除

③研究課題

1) 奇形タンポポの原因究明

土壌分析と除草剤の因果関係（助成研究）

2) 多摩川・湧水の硝酸性窒素の分析と原因究明

水質調査と化学肥料の分析（助成研究）

3) 外来種（特にアオマツムシやガビチョウ）の生態研究

II. NPO 法人化の準備

財政的な基盤（クラウドファンディング）と組織的な基盤（若い人を入れた将来につながる組織作り）

事業受託ができる組織作りと実力養成（モニター体制・自然観察指導員制度の利用・活用）

III 廃校（拝島4小）を活用した研究と教育の拠点作り

1) 人が集まり（集会室・体育館）、IT化・ライフライン（電気・水道）のある環境

2) データベースが保存できる環境（図書室）

3) 情報拠点（パソコン室）

4) 教育プログラムが実践できる環境

a. 校庭を生かしたビオトープ作り

用水路の復活と水田作り、草地・雑木林作り

b. 図鑑や書籍の活用（図書室）

c. 映像設備のある環境（視聴覚室）

d. 生活と自然との関わりを理解する環境

食のゾーン（伝統野菜・無農薬野菜の学習会、校庭を活用した養蜂事業・はちみつ作り、
スローフード講習会等々）

防災・野外体験のゾーン（プールを活用した着衣泳法、校庭を活用したキャンプ技術の講習会等）
（プールを活用したカヌー教室、トンボのヤゴ調査等）

（校庭での井戸掘り、学校林の中でのツリー体験）

教育のゾーン（自然データの展示、学校教育との連携・活用、放課後教室や夏休み教室を含む）

5) 地方との連携 より自然の豊かな地域との連携

岩手県岩泉、山梨県小菅村・丹波山村（源流域）、東京都奥多摩町、島しょ部（三宅島等）、他

6) 都心との連携

多摩川河口部（東京湾）や支流地域（浅川等）との交流